

世代別・職業別タウンミーティング
(松山東雲女子大学・松山東雲短期大学) (要約)

テーマ：学生の視点で松山市を考える

平成28年8月24日(水曜日)

【市長】 皆さん、こんにちは。私が先ほど入ってきたときに、皆さんが立ち上がられました。今まで100回近くタウンミーティングをしていますが、皆さんが立って待ち構えてくださったのは多分初めてじゃないかなと思います。お行儀がいいなと思いました。まず、タウンミーティングがどのようなものかご説明したいと思います。私が市長に就任させていただいたのが平成22年11月末ですが、そのときから公約に掲げています。松山市は旧松山市、旧北条市、旧中島町と合わせて41地区あります。地区ごとにそれぞれ課題もあったり、逆に魅力もあったりしますが、課題は減らして、魅力は伸ばしていきたいですね。どっちが楽かという、市役所で皆さんが来られるのを待っているほうが楽です。でも、果たしてそれでいいのでしょうか。我々のほうから各地区に出向いて行きましょうということでタウンミーティングを始めました。市長の任期は1期4年、月にすると48カ月ですから、48カ月で41地区を1カ月に1地区のペースで回っていくといいかなと思っていました。この松山市版のタウンミーティングの特徴は、やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにしない、この場でできるだけお答えをして帰ります。でも、中には国と関係をする案件、愛媛県と関係をする案件、財政的にちょっと考えなければいけないものは、いい加減な返事をして帰るわけにはいきませんので、答えられないものは一旦持ち帰らせていただいて、1カ月を目処に必ず返事をするという、やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにしないタウンミーティングを重ねてまいりました。おかげさまで好評になり、この41地区を当初は4年で回ろうと思っていましたが、2年2カ月で一巡り終わりました。そして、1期目4年の中で、どうせなら2巡りしようということで二巡り終わりました。そして、2期目に入らせていただいて、2期目はこの地区別のタウンミーティングだけではなく、世代別や職業別のタウンミーティングもしようと思ったんです。先日は、職業別タウンミーティングとして大街道やロープウェー商店街の方々とタウンミーティングをさせていただきましたし、農業分野の方々とタウンミーティングをさせていただきましたことでもあります。このような職業別タウンミーティングのほかに、若者世代の皆さんとのタウンミーティングも大事だと思って、地区別に加えて世代別・職業別タウンミーティングを新たにしているところです。これま

で愛媛大学さん、松山大学さん、聖カタリナ大学さんでさせていただきましたが、東雲大学さんではまだできていなかったの、早くやりたいなと思っていました。今日は、塩崎学長さんをはじめ、学校関係者の皆様のご協力をいただき、本当にありがとうございます。今から90分間ですが、緊張して、肩ひじ張っていると疲れてしまいますから、あまり緊張なせずに、ざっくばらんに意見交換ができればと思っていますので、どうぞよろしくをお願いします。

【司会】 それではテーマについて市長からご説明します。

【市長】 今日のテーマは、東雲女子大学・東雲短期大学さんにご相談させていただく中で、「学生の視点で松山市を考える」というテーマになりました。世代別タウンミーティングでは、松山の宝を生かしたいと思っています。皆さんも松山の宝です。松山市には4年制の大学が4つと短期大学が3つ、専門学校がおよそ20あります。松山市の人口が約52万人弱ですが、この世代の学生さんはおよそ2万人いるんです。この2万人の声が届くのと届かないのでは届いたほうがいいですよ。皆さんのアイデアも生かしながら市政ができたほうがいいですよ。どこの市町村にもこのように大学や短期大学や専門学校があるわけではないです。これは松山の特徴で松山の宝です。そういったことから、今年度から次世代を担う子ども、若者グループのまちづくり提案に対して補助金を交付する制度をスタートしました。この制度を通じて「自分たちもまちを構成する一員であること」「まちづくりが他人ごとでないこと」を実感してもらいたいと思っています。今年度は6月に審査会を行い、学生審査員と寄付者がそれぞれ応援したいと感じた団体に応援票を投票しましたが、一番多くの票を獲得した団体が東雲短期大学さんの学生団体「東雲オレンジクラブ」さんでした。どんな提案かという、「東雲総活躍社会」というもので、具体的には大学生や職員さんが高齢者や認知症を患っている人への理解を深めて、学校行事を通して、地域の人々と交流を重ね、地元根付いた教育環境をつくるという内容で、これはいいなと思ったので、松山市から補助金を交付させていただくことになりました。皆さんも聞かれたことがあると思いますが、まちづくりに大切な要素として、「若者・ばか者・よそ者」という言い方をします。若者というのは、若い人の発想が大事だということ、よそ者というのは、外からの人の視点も大事だということ、ばか者というのは、本当にばかという意味ではなくて、突飛な発想ということです。このようなものがまちづくりに非常に大事ではないかと思っています。実際に、東雲女子大学・東雲短期大学さんと松山市は日ごろからよい

関係が築けていると思っています。今年2月には、課題に適切に対応するため、東雲大学さんと連携協定を結ばせていただきました。中でも子育て支援については、平成26年5月に東雲大学さん、聖カタリナ大学さん、そして出版関係のリビング新聞さん、タウン情報まつやまを出していますSPCさんと「まつやま笑顔の子育て応援連携協定」を結ばせていただいて、この連携協定事業である「キッズフェスタ」では、東雲大学の学生さんが子どもに遊びを教えてくれています。また、両大学さんと松山市との共同事業として「子育て支援ひろばたんぼぼ」の運営にご協力をいただいています。次に、「魚を捌いて一嘗三嘆・鯛料理」という取り組みは、松山の有名な鯛をいかに広めていくかというもので、去年12月に松山東雲女子大学人文科学部心理子ども学科子ども専攻の学生54名の方に参加していただきました。そして「笑顔のまつやま わがまち工房」といって、市民に関心の高いテーマをメンバーと市職員が協働で調査・研究を行って市長に提言を行うものですが、今年は「デザインしよう！わたしたちのこども館」というテーマで、参加者24名のうち東雲短期大学から3名の学生さんに参加いただいています。行政だけ、市役所だけ、県庁だけのまちづくりには限界があります。皆さんと一緒に、そして民間の方と一緒にやると色んないいまちづくりができると思いますので、今日は皆さんのアイデアや意見を大変心待ちにしています。今日は、市役所の各専門分野の担当が来ていますので、それぞれ自己紹介します。

【市民部長】 このタウンミーティングを所管しています市民部長の唐崎です。市民部ではこのタウンミーティング課のほかに、市民参画まちづくり課、人権啓発課、市民相談課、市民課や支所を担当しています。どうぞよろしくをお願いします。

【保健福祉部副部長】 保健福祉部副部長の野本と申します。保健福祉部は国民健康保険や後期高齢者などの医療保険、介護保険、子育てや保育園など子育て支援、高齢者や障がい者福祉、また、健康づくりや予防接種などを担当しています。どうぞよろしくをお願いします。

【地域経済課長】 産業経済部地域経済課の宇野と申します。私が所属している産業経済部は農林水産業などの第一次産業、製造業などの第二次産業、サービス業や商店街といった第三次産業を管轄しています。皆さん、最近よく女性活躍というお話を聞くとと思いますが、これからは女性の社会進出や活躍ということが非常に大事になると思いますので、今日はそういった女性ならではの視点を取り入れたいと思いますのでよろしくをお願いします。

【都市・交通計画課長】 都市整備部都市・交通計画課長の石井と申しま

す。都市整備部では道路整備、交通の計画、公共交通の利用促進、放置自転車対策、駐車場対策など、都市の基盤になるものと移動の基礎となるものについてご紹介させていただきますので、よろしく申し上げます。

【市長】 担当の仕事をお伝えしましたので、そのようなことを聞けると思われたと思いますが、それ以外の分野でもできる限りお答えして帰りますし、お答えできないものはまた改めてお返事しますので、遠慮なく言っていただけたらと思います。

【学生】 こんにちは。私は短期大学食物栄養専攻の学生です。市長さんにお会いするのは今回が3回目で、このような機会をいただきとてもうれしく思います。お忙しい中、本日はお越しいただきありがとうございます。認知症のオレンジクラブの説明までしていただきありがとうございます。私は、防災士の資格取得後の活動について質問があります。私は来月防災士の資格取得のために研修に参加する予定ですが、市長さんご自身も防災士の資格を持たれていると以前にお伺いしました。市長さんも市長というお立場と地域に戻られたら地域の防災士であるという立場があると思いますが、その資格取得後にモチベーションを下げないようにするために、学生としてどのようなことが必要かを伺いたいです。学生は、県外から来ていたり、地元が離れていたりする場合がありますので、「私は防災士の資格を取得しました」と地域の方にアピールする機会がすぐにあるとは限らないですが、学生と地域との橋渡しをするような市での取り組みなどがあれば教えていただきたいと思っています。

【市長】 防災士をご存知でない方もたくさんいらっしゃると思いますので、防災士とは何かご紹介したいと思っています。全国に1,700の市や区などがありますが、松山の防災士は3,000人を超えます。防災士が3,000人を超えているまちは松山だけなんです。2番が2,400人の大分市、そのほか東日本大震災があった仙台が多いです。防災士は日ごろは啓発活動を行います。例えば、避難のときのグッズはこういうものを揃えてくださいなどの啓発活動をします。いざ災害が起こったときには、避難所の運営もできるとか、AEDが使えるとか、人口呼吸ができるとか、毛布と竹が二本あれば担架がつけられるとか、そのような技術や知識を取得した人が試験を受けて一定の点数以上を取れば、防災士という資格がいただけます。なぜ松山市に多いのかというと、前市長の中村時広知事のときや私になってからも続けていますが、これは大事な存在だということで、皆さんの税金を使わせていただいて育成してきたから、松山市が一番多いんです。普通は東京や大阪に行かないと試験を受けられないところが、松山

にはこれだけ人数が多いので、松山で受けられるようになっていきます。地区の組織の推薦を受けた方に松山市が補助をするような形で増やしてきました。50歳、60歳の方々が防災士の資格を取ってもらうのも非常にありがたいことですが、皆さん方のような20歳、30歳の方が防災士の資格を取ってもらえば、長い期間活動してもらえるので、大学生の方に防災士になっていただくことは非常にありがたいことだと思っています。防災士の資格を取って終わりではなく、実際に動いてもらえることが大事なので、フォローアップ研修や講演会などを行っています。そして、今、松山市では、防災士や消防団の人たちの就職を薦めています。「この人たちは資格を持っていますよ、こういう大学生が企業に入っていくと企業にも防災士が生まれますよ」ということです。企業さんで避難訓練しようと思ったら、その防災士さんが中心になってやってくれて、各企業の中でも防災士が生まれるということは非常に大事ですので、こういう就職もお薦めをしているところです。消防職員と消防団員は違います。消防団員は日ごろは別の仕事を持っていて、いざというときに駆けつける人が消防団員です。消防職員だけではやれることに限りがありますので、消防団員も充実させて、防災士を増やしたいと思っています。

【学生】 松山東雲女子大学心理学科4年生の学生です。中国から来ました。私は四国以外では、神戸、長崎、広島などの都市に旅行に行ったことがあります。松山と比べると、外国からのお客様は圧倒的に人数が多いと思います。松山は道後温泉や俳句などの歴史遺産と自然の観光スポットを持っていますので、実はすごくいいところだと思います。外国人のお客様に松山はいいところだよと知らせるために、松山ではどんなことに取り組んでいますか。また4年後の東京オリンピックのきっかけとして、外国人のお客様を誘致するためにどんな計画があるのでしょうか。

【地域経済課長】 ご質問ありがとうございます。まず、外国人向けのPRですが、例えば外国の方がよく見られるようなウェブサイトにはリンクを貼らせていただいたり、外国人の方がよく行かれる広島県宮島のホームページにもリンクを貼らせていただいています。また、松山市のウェブサイトには、中国語はもちろんのこと、英語や韓国語などでPRをしています。実は昨年、台湾に神輿を持って行き、台北市で鉢合わせをしたことがあって、そこで8万人もの人に来ていただいたこともあり、そういったところでもPRするようにしています。

【市民部長】 シティプロモーション推進課では、海外に向けた取り組みをしています。平成25年、26年に海外からの観光客がどんどん増え、

来ていただいた方々により印象を伝えていくことを重視して、松山市の色々な観光地が出てくるオリジナルアニメーションを制作しました。海外の方々でも視聴いただけるように6言語の字幕をつけて配信し、松山市のよさを海外にも知っていただこうと努力しています。

【市長】 できるだけわかりやすく話します。松山の経済をよくするために、例えば、松山のモノを買ってほしいとしましょう。例えばジャガイモやピーマンやタマネギなどの商品は、1個何百円の世界ですが、旅行商品は一泊二日、わかりやすくいうと1万円です。かたや100円の商品もあれば1万円の商品もあるわけです。観光ってすごく地域を元気にする商品です。各地がシティプロモーションをしています。例えば香川県は要潤さんが出身なので、「うどん県。それだけじゃない香川県」としてやっていますし、広島県は有吉さんが出身なので、「おいしい！広島県」ということでシティプロモーションをしています。松山市もシティプロモーションをするときに、タレントさんを使ってしますか、という話になったわけですが、タレントさんを使うと、香川県や広島県の二番煎じと思われると嫌ですよね。タレントさんはギャラが結構するわけで、例えば1年間とか長い期間やろうと思ったら、肖像権を買わせていただくわけですから、高くなるわけです。それといざ何かあって変更しようと思ってもなかなか変更できないです。でもアニメーションですると一桁安くできるんです。それに、アニメーションは日本が世界に誇る文化ですし、ヨーロッパでも日本のアニメはすごく人気です。皆さん、マッツとヤンマとモブリさんという作品を見たことがなかったらYouTubeで見られますから見てください。これは、「Always 三丁目の夕日」などを手掛けた東京のロボットという立派な制作会社につくっていただいて、観光映像大賞全国2位の賞をいただきました。大体10分間くらいのアニメーションですが、これに松山の魅力がぎっしり詰まっています。第1弾は水樹奈々さんやタレントの友近さんなど、松山にゆかりの方に出していただいて、第2弾では白濱亜嵐さんに出していただきました。マッツとヤンマとモブリさんという作品は、英語、中国語、韓国語、台湾語、ドイツ語、フランス語の6言語の字幕があり、それぞれ観光地での案内も多言語化していますので、ますます外国のお客様に来ていただきたいと思っています。

【学生】 松山東雲女子大学3回生の学生です。本日はこのような機会をいただき、ありがとうございます。私はえひめFreeWi-Fiについて意見を言わせていただきます。大街道や市内中心部ではWi-Fiの接続もよかったですのですが、そこから離れてしまうと接続が悪かったり、接続してい

るほうが逆につながらないことも多々あります。これからえひめ国体や東京オリンピックもありますし、外国人観光客の方もたくさん来られると思うので、もっと接続がよくなり、情報共有ができるようにしていければいいなと思いますが、何か考えている政策や取り組みはあるのでしょうか。

【市民部長】 えひめ FreeWi-Fi は愛媛県の取り組みですので、愛媛県に確認しました。えひめ FreeWi-Fi は複数の民間通信事業者などの Wi-Fi サービスをそのまま利用して整備していますので、通信事業者によって接続方法が異なっているため接続の状況が悪くなる場合があります。また、一般的に Wi-Fi の電波が混雑しているエリアやアクセスポイントから距離がある場所、あるいは電波を発信するほかの機器の近辺では接続が不安定になる場合があるとお答えをいただいています。県としても対策を取りたいということで、皆さんがえひめ FreeWi-Fi のロゴステッカーのある場所で接続できない場合などがありましたら、具体的な場所や時間、状況などを県に知らせてほしいと言われていています。愛媛県の情報政策課に連絡いただきたいということです。ちなみに、松山市のフリーWi-Fi は、えひめ国体開催を見据えて、現在市内 37カ所に整備しています。本年中に国体の会場となる市有施設への整備は完了する予定ですので、ぜひご利用いただきたいと思います。

【市長】 遠慮なく Wi-Fi のことを言ってください。例えば、道路のことなど遠慮なく言ってもらっていいです。例えば、道路も国道、県道、市道、私道や農道もあります。皆さん、国道 33号や 56号や 196号はわかっても、国道 494号などすごく大きい番号もあるので、どこが国道で、どこが県道で、どこが市道かわからないですよ。もし、市に言っていただいて県道だったら県に取り次ぎますし、国道だったら国に取り次ぎますし、遠慮なく言っていただいたらと思います。Wi-Fi もそれと一緒にです。お金がいくらでもあるんだったら、どこでもたくさんつけていきますが、そうもいかないの、利用に応じてやっていきます。私から、1つ聞きたいことがあります。なんとなく堀江地区がどこかわかる方は、手を挙げていただけますか。実は、松山市の堀江は海のほうですが、昔、港があってフェリーが 2つ通っていたんです。香川県高松と岡山県宇野の間に、宇高連絡船という国鉄の船がかつて通っていました。でも、1つ減り 2つ減り、結局堀江の港からはフェリーの出入りがなくなってしまって、すごくさみしくなりました。でも、地元の人たちが、この堀江の賑わいを諦めることなく頑張るぞという動きがありました。当然、フェリーが出ていたから、堀江には栈橋があります。栈橋はどこにでもあるわけではないですから、その栈橋を宝物と考えて、何か磨ける方法がないかとリサーチしました。す

ると、瀬戸内海ですから、関西や広島でヨットやクルーザーを持っている方が堀江まで来たら、堀江の港から歩いてすぐのところにJR堀江駅やバス停もあり、JRや伊予鉄のバスに乗って、街中や道後温泉まで行けるわけですよ。今、ヨットやクルーザーの利用が増えていて、ようやくWi-Fiの話につながっていくわけですが、Wi-Fiをここに設置すれば、ヨットやクルーザーの中でも、ネットで情報収集ができるし、「今日は堀江までクルーザーで来ました」と発信してくれるんです。そうしたら、ヨットやクルーザーの愛好者の人が、「堀江というところがあるんか、道後温泉まで行けるんや」と思ってもらえるので、Wi-Fiの設備投資で情報発信もしてもらえるということで、Wi-Fiを整備させていただきました。また、古い栈橋で、昔はタイヤをクッション材にしていたのですが、きれいなヨットやクルーザーにタイヤだと黒く汚れてしまうので、白いクッション材にしたり、給水ができたたり、電気が充電できたらヨットやクルーザーの人は助かりますよね。そういう施設を徐々に入れていきました。このように、皆さんから利用者の声を寄せていただいたほうがよりよくなっていきますので、遠慮なく言っていただけたらと思います。

【学生】 松山東雲女子大学子ども専攻3年の学生です。よろしくお願ひします。子ども専攻ということで、将来保育士になるために勉強しているところで、待機児童が増えているのは愛媛県だけではないと思いますが、それをゼロにするために、松山市がしていることや、子どもの遊び場が減少していると思うので、それを増やすためにどうお考えなのか教えてください。

【保健福祉部副部長】 まず、1点目の待機児童対策については、平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、既存の幼稚園や保育所も認定こども園に移行できるようになり、また、小規模保育などの地域型保育事業が新たにできました。このようなことを利用しながら、保育の受け皿づくりに現在取り組んでいます。新制度がスタートする前の平成26年と比べると、26年度に6,195人だった定員が、28年4月1日では1,080人増えて7,275人となりました。ただ、定員は増えてはいるものの待機児童の数は平成26年度に一時ゼロになりましたが、そのあと、国の待機児童の定義が変わり、求職活動中の方も待機児童に含めるようになり、平成27年度4月には95人、平成28年度には94人となり、施設を整備してもなかなか解消につながっていないのが現状です。今年度も施設整備に取り組んでいますが、ふたを開けてみないと判断できない状況になっています。それから、子育て支援策として、松山

市に8カ所の児童館・児童センターがあります。つい最近も北条地区に北条児童センターを開所しました。こちらは、小さなお子さんを連れのお母さんに来ていただいて、お母さん同士が友達になるとか、子育ての情報交換をするような場所として活用していただいています。

【市長】 私からできるだけわかりやすくご説明します。皆さん、子育てに冷たいまちって発展性がないと思いませんか。全国47都道府県ありますが、出生率が一番低い都道府県はどこだと思いますか。全国47都道府県で、一番出生率が低いのは、実は東京なんです。あれだけ若い男の人、女の人、出会いの場もいっぱいあるだろうに、出生率が一番低いのは東京なんです。やはり子育ての環境が伴わないから大変低いんですよ。そんな東京にどんどん若い人が憧れて集まってくると、子どもの出生率は低いですから、どんどん悪いスパイラル、負の連鎖になっていってしまいます。私が平成22年に就任して、待機児童ゼロを目指すということで、細かい取り組みをしてゼロまでもってきたんですが、待機児童の国の定義が変わり、休職活動中の方も含めるようになりました。でも、私は待機児童ゼロではなくて、もうひとつ大きな入園できない児童ゼロを目指すように号令をかけていますので、細かい取り組みをしながら減らしていき、子育てにやさしいまち松山をつくっていきたいと思っています。この7月に北条に児童センターができましたが、それまで北条に児童センターがありませんでした。地元の中学生の女の子からもつくってくださいと、タウンミーティングで言われていました。古川のはなみずき通りのそばに、南部児童センターがありますが、そこは全国で約1,300児童館がある中で、利用者数が10本の指に入るんです。何でそんなに多いかというと、北条児童センターにも設けた音楽室があるんです。なぜ、音楽室が利用者につながるのかと思うかもしれませんが、今、家でピアノやキーボードの練習がしたい、ドラムの演奏をしたいと思っても、近所のことを考えるとなかなかできないですよ。それを児童センターに、防音設備のある音楽室を設けて利用しやすくしたら利用者は伸びるんです。そのようなことで、南部児童センターが利用者数を増やしていますけれども、北条では、ミニバスケットの3on3のコートも設けました。つくる以上は、できるだけ多くの方に利用してもらいたいと思っています。あともう1つ。昔は公園でボール遊びができましたが、最近はボール遊びができなくなっています。これは、ルールのもとで遊ばないと、おじいちゃんおばあちゃんや小さい子どもたちも来る公園で、バットを振り回したり、サッカーボールを蹴っていると危ないですよ。地区の人と話して、ルールを守ってボール遊びのできる公園を大体1年に1地区から2地区増やしてきています。そうやっ

て、皆さんの声に寄り添って、遊びやすい環境をつくっていきたいと思います。子育ての環境が伴わないまちは、発展性がないと言いましたが、子育てに関わる仕事は、本当に大事な仕事だと思います。うちの姉も幼稚園の先生をしていたのでよくわかりますが、お子さんも全部言うことを聞いてくれるわけではないので、大変なお仕事だと思いますけども、本当に大事な仕事ですので、頑張っていたきたいと思います。

【学生】 女子大学1年の学生です。私は、公共交通機関の運行時間についてお伺いします。私たち学生は、学校帰りや休日に銀天街や大街道に行く機会がとても多いですが、電車やバスの最終便の時間が早かったりして、商店街にいる時間がとても短くなってしまふことがあります。現在、毎週金曜日に最終便の時間延長が実施されていますが、その制度がほかの曜日よりも多くの路線に導入されることあるのかお聞きしたいです。

【都市・交通計画課長】 公共交通のサービス水準の向上は、松山市も非常に苦勞しています。松山市民の通勤、通学、買い物などの移動で、公共交通を使われる方は全体の3%しかいません。東京あたりだとそれが3割ぐらいあります。3%であの路線の運行費を出すということはなかなか厳しい状況です。だから、夜遅い便でも、皆さんが週に1回は環境のことや将来の路線維持のために、公共交通を利用していただくと、さらにサービス水準を上げることができるようになります。今の見込みでは厳しい状況ではありますが、もともと金曜日は遅い時間帯にもバスがあり、鉄道も金曜日出るようになりました。皆さんにも公共交通の利用をしていただきたいというお願いをしたいと思います。

【市長】 ご存知のように、大阪の地下鉄は大阪市営です。松山は、松山市営の鉄道ではなく、伊予鉄道という民間の会社がやっています。できる限り皆さんに利用していただくほうが維持できるわけです。松山には路面電車がありますが、路面電車は全国約1,700市町村のうち残っているところは、わずか17しかないんです。100分の1都市の割合です。ですから、路面電車もまちの宝で、高齢になって、運転免許の返納を考えなければならなくなったときに、路面電車や郡中線、高浜線、横河原線やバスなどの公共交通機関があると、移動しやすいですよ。公共交通があることは、とても大事なことです。昔、国鉄が走っていて廃線になったところもありますが、松山はJRも走っています。車で移動するのは荷物がたくさん運べますし、自分のタイミングで移動できるからいいですが、やっぱり排気ガスの問題もありますよね。環境への配慮という面でもこの公共交通があることは、すごく大事なことです。ですから、存続するために

は、皆さんに乗っていただくことが大事ではないかと思っています。松山市も伊予鉄道さんと組んで、できる限り乗りやすくし、各駅でバリアフリーにしたり、拠点駅には車やバスで行きやすくして乗換がしやすくするようなことを伊予鉄道さんと一緒にやっていますので、できるだけ公共交通に乗っていただきたいと思います。

【学生】 東雲女子大学2回生の学生です。私は心理福祉専攻で将来福祉関係の仕事に就きたいと考えていて、来週から福祉施設でのインターンシップに参加します。先日、神奈川県で起こった障がい者施設の事件のことで、施設の警備等をくぐり抜けて事件が起こってしまったということがありましたが、松山市の福祉施設ではセキュリティ等がどのようになっているのか知りたいので、よろしくをお願いします。

【保健福祉部副部長】 先日の事件は本当にショッキングな事件で、報道で聞くと、鍵もかけて防犯カメラもつけて、それぞれの部屋も鍵を閉めている状態でもあのような事件が起きてしまったということです。犯行を起こした人が元職員で、中のことをよく知っていたことも大きなところだと思います。本来であれば一度仕事に就いたら、そこで安心して自分の就いた職に自信を持って仕事をしてもらえる環境が非常に大事だと思いますが、今、福祉の世界で途中離職が多いことも今回の事件の起きた1つの要因かなと感じています。今回の事件が起きたところのように、ハード面では、鍵を閉めたり、防犯カメラがあってもそれをかいくぐって行う人が出てくるということは、もうひとつ上のセキュリティを考える必要があります。整備にだけお金をかけて、人へのサービスがおろそかになるといけないので、そこのバランスは非常に難しいです。国でも緊急対策として、2次補正予算を考えているようです。そのようなことを、市でもキャッチしながら事業者さんと力を合わせて安全安心に取り組んでいきたいと考えています。

【学生】 松山東雲女子大学心理福祉専攻2年の学生です。私自身2年後に就職しますが、できれば松山市内での就職を目指しています。実際にまわりを見ると男性の方が多いと思いますが、女性が働きやすいように具体的にどのような環境づくりをしていて実績があがっているのか教えていただけたらうれしいです。

【地域経済課長】 ご質問ありがとうございます。大きな話をさせていただくと、少子高齢化が進んで労働力人口が足りなくなってきています。特に女性の方は出産を機に退職されたりすることがあり、お子さんがある程

度大きくなったときに、もう一度働くようなところがあります。そういったときに、長らく仕事の現場から離れていると、なかなか思うように働けなかったり、自分の意中のところに当たらなかったりします。でも、そういう方々にもう一度就労の現場に立っていただくことが松山市の経済全体の活性化にもなります。現在、有効求人倍率も上がっていて、人が欲しい企業は市内にもたくさんありますので、そういうところに松山市が間に業者を入れてマッチングすることをしていきます。それから、女性に限らず若年者の離職率が結構高いといわれています。七五三というような感じで、中学校を卒業して仕事された方の離職率は7割で、大卒の方は3割という離職率になっているようですが、例えば早めにキャリア教育をして、インターンシップに行ったり、小学校や中学校の間からキッズニアのような就労体験をすることで自分の進むべき道の認識を高めるとともに、職に就かれることが困難な方には、例えば手に資格を持つとか、そういったところにも助成制度を設けるなどして、就労支援につなげていきます。

【市長】 私は平成22年に松山市役所に入らせていただきましたが、昔の女性職員さんは、結婚したら辞めてしまうとか、お子さんが産まれると辞めてしまっていました。でも今、松山市役所は採用試験をすると新入職員さんは女性のほうがどちらかというとい多いです。やはり、女性の声をしっかり反映していかななくてはいけないと思っています。我々から上の世代になると、もともとの女性職員さんの分母が少ない現状がありますが、できるだけ女性の社会進出を応援していきたいと思っています。やっぱりトップの意識が大事だと思うんですね。実は、今度、イクボス宣言をしようと思っています。イクボス宣言というのは、育児に理解のあるボス宣言です。ある会議があったときに、女性の方から「市長、県内の首長でまだイクボス宣言をしている人がいないので、松山市役所のトップとしてイクボス宣言をしたらどうでしょうか」と言われたんですね。でも、私一人が言うよりも松山市内にはいっぱい企業さんがあるから、多くの企業さんと一緒にイクボス宣言をしたら松山市全体の育児に対する理解度が高まるんじゃないですか。一人で言うより、松山市役所が促したほうがいいたろうなと思って、今、企業さんにお声をかけて募っています。こうやってトップの意識が変わると、また松山市全体の意識が変わると、もっと女性が働きやすくなるのかなと思っています。それから、道後商店街の近くにある松山市東消防署には女性消防職員がいます。道後の特性ですが、観光客の方が来られ、高齢の女性でお風呂に入っているときに血圧の変化で倒れたりする方がいらっしやいますが、そういうときに、いくら救急隊員といっても、男性が入って来るよりは女性のほうがちょっとでもいいですよ。な

ので、道後の松山市東消防署には、女性を置くようにしました。これは女性消防職員と意見交換をする中で生の声が出てきたわけです。松山市東消防署は建物が古く、女性を配置しようと思ったら、着替えの場所やトイレや仮眠室のハード面の整備をする必要がありましたが、道後の特質から考えると女性消防職員さんがいたほうが良いということで変えさせていただきました。だから女性の特性ってあるんです。男にないもの、男で行き届かない部分を持っているんです。ですので、これからの社会の中でも女性の声をますます反映していきたいと思いますので、一緒によろしく願います。

【学生】 松山東雲女子大学1年の学生です。私は大学生になり、原付でまちへ行くことが多くなりました。市駅付近の駐輪場はエレベーターがあったりして気軽に置くことができますが、大街道付近は帰りに原付を持ち上げることが難しかったり、一方通行が多く帰りづらいのもっと気軽に置ける駐輪場をつくってほしいのですが、どうでしょうか。

【都市・交通計画課長】 市駅のエレベーターというのは車路であるもののことですか。どこのことですか。大街道はどこのことですか。

【学生】 市駅は高島屋南館の近くのところで、大街道は三越やプリクラ館の隣です。

【都市・交通計画課長】 駐輪場は、1台1日200円や100円なので収益上なかなかつくるのが難しいところがありますが、駐車場だとそれが30分100円とかになります。当初、放置自転車や原付が非常に多くて通行者に支障をきたしていたので、平成6～7年ごろから松山市も駐輪場を整備し、民間の人も駐輪場を整備してくださいということをしてきました。松山市の大街道駐輪場だと車路をスロープ式のものに改修したり、時代に合わせて変えていったりしています。民間事業者さんにもそのような投げかけはしますが、なかなかできないところもありますけれども、機会をとらえて改修時期が来るとか、耐用年数の時期が来たら、使い勝手のいいように声をかけていきたいと思っています。

【市長】 サイクルガイドさんといって、大街道や銀天街に行ったら、札を持っているベテランの方がいらっしゃいます。「大街道や銀天街にそのまま自転車で入って行けたら楽だ」と思われるかもしれませんが、これには経緯があります。昔は大街道や銀天街もそのまま自転車で入って行けていたんですが、手をつないで歩いている小さいお子さんやおじいちゃんおばあちゃんの中を、弧を縫うように自転車が走っていたら危ないですね。それと困るのが、例えば大街道に、夜勝手に自転車が置かれてしまって、

救急車が入って行けなくなったら命に関わるような話ですよ。そういうことで、大街道や銀天街では自転車を押してもらいましょう、駐輪も声かけをして「こういうところに停めてください」ということをしてきました。昔は、サイクルガイドの方は厳しい言葉を投げかけられたりしたんだそうですけれども、今はかなり皆さんから認知されているようになってきました。そういう経緯がありますので、手をつないでいる小さい子でも安心して買い物が楽しめるように、高齢化してきて足が悪くなった方でも買い物が楽しめるように配慮した世の中にしていきたいと思っておりますので、ご協力いただけたらと思います。

【学生】 松山東雲女子大学 1 回生の学生です。初めまして、こんにちは。私はずっと吹奏楽をして音楽に関わってきました。愛顔のえひめやひめぎんホールでの演奏に高校生のおきに出させていただいてすごく楽しかったのも、もっと音楽と関われるイベントを松山市につくっていただきたいなと思うんですが、どうですか。

【市長】 直接の答えにならないかもしれませんが、やっていきたいと思っていることがあります。実は、音楽で道後の魅力アップができないかなと思っています。中学や高校、大学まで地元で本格的に音楽をやっている方は多くいて、音楽演奏はできるけれど、あまり披露する場所がないという方が結構いらっしゃいます。例えば、道後に来られて夕方のお食事までの間に、道後のホテルや旅館の 1 階のスペースで音楽を奏でていただいたりすると、道後温泉も癒しだし、音楽に癒される部分もありますよね。演奏できる方々に協力いただいて、もちろん受け入れ側の旅館・ホテルにも意向を伺わないといけませんけれども、そういうことができる松山の魅力アップにもつながるかなと考えています。披露する方にもいいし、来たお客さんにも予告されていなかったけれどもロビーで生演奏聞けたんよというのも魅力アップになるかと思っております。それから、直接の答えにならないかもしれませんが、そういう機会にできるだけ参加をしていただけたらと思っています。実は、今日は全国の消防のレスキューの人の大会が中央公園であります。北海道から沖縄までの全国の鍛えられたレスキュー隊員たちが 1, 0 0 0 人ぐらい来ています。そこで、演奏してくれたのは学生さんたちなんです。愛媛県警には県警職員さんの音楽隊がありますが、松山市消防局にはそのような消防音楽隊はないので、消防団員になってもらっている大学生の方に松山市消防団音楽隊として、消防救助技術大会で国旗掲揚や黙とうのとき、入場行進のときに演奏してもらいました。県警音楽隊みたいな音楽隊がなくても学生消防団員さんたちの音楽隊が奏で

てくれたんですよ。そういう優れた才能を發揮してもらおうと松山の魅力アップにもなりますし、個人の能力アップにつながりますので、機会を通してやっていただけたらと思います。

【学生】 こんにちは。東雲女子大学1回生の学生です。就職についてお伺いしたいです。大学進学のために県外に出た人は、そのまま県外で就職したり、県内に残っている学生も県内に就職するのではなく、県外に出て就職する人が多いですが、松山市で県内で就職する人を増やすためにしていることや、松山市で就職するメリットは何かありますか。

【市長】 松山はすごく暮らしやすいと外から来た人もよく言われますが、暮らしやすさを地元の方々に知ってもらうために、この本をつくりました。（若者定住ガイドブックを見せる）皆さん9ページを開けてください。ここではっきりわかります。「データが語る松山の暮らしやすさ」では、愛媛県は通勤通学の時間が日本一短いです。愛媛県の通勤通学にかかる時間は全国で一番短くて20分、東京の半分です。これは総務省統計局のデータですが、東京は39分、大阪は32分です。仕事の平均時間の長さも日本有数です。仕事の平均時間は、東京は6時間54分、大阪は7時間、愛媛県は6時間37分で、平均すると全国で二番目の長さです。これは愛媛の人は働かないという意味ではなくて、ここに書いているように真面目で優秀という県民性を評価して、県外から松山に進出した企業もあります。効率よく真面目に働くから労働時間が短縮できるのかもしれませんが。余暇の時間がたくさん取れ、1日のうちで自由に使える時間の長さは、愛媛県は6時間1分です。これは全国1位です。東京や大阪に比べると大分長いですね。通勤時間が短くて、仕事もササッと切り上げられるとなれば、自由に使える余暇の時間が長くなるのは当然のことですね。そして、近所に何でもそろそろコンパクトシティです。暮らしに必要なお店や病院の近さが全国一番というデータが出ています。11ページを見てください。住居にかかる費用が安く、民営の賃貸住宅の家賃は全国で松山市が一番安いんです。土地付きの住宅を買おうと思うと、東京は5,400万円ぐらいかかるのに、愛媛では同等のものが3,370万円ぐらいで手に入ります。分譲マンションは、同等のものが東京では4,800万円ぐらいかかるのに、愛媛では2,800万円ぐらいで手に入ります。こういう松山・愛媛のよさを皆さんにわかってもらえるように、このような冊子をつくっています。愛媛での松山での就職を促していくために、さまざまなことに取り組んでいきますので、皆さんも気付いたことがあったら言っていただけたらと思います。

【学生】 こんにちは。松山東雲女子大学1年の学生です。今年から選挙権年齢が18歳以上になりました。松山大学では期日前投票の場が設けられていますが、松山東雲女子大学でも、そのような場がつけられると選挙に積極的に参加する人が増えると思うのですが、期日前投票の場がつけられることはないのでしょうか。

【市民部長】 期日前投票所があるとありがたいというのはあると思います。現状では、松山市は中核市の中で1番多い29カ所設置しています。その中には商業施設のフジグラン松山、伊予鉄高島屋、松山三越、松山大学、愛媛大学があります。新たに期日前投票所を設ける場合には、それぞれコストがかかりますし、セキュリティの問題もあります。また、投票者数が確保できるのかといった点を考慮する必要があります。そういったことから、現状では東雲大学内で開設することは難しいと選挙管理委員会から返事をもらっています。この近辺では、期日前投票ができる場所は、久米支所、道後支所になります。桑原にも支所はありますが、ここはスペースの関係でなかなか設けにくいということです。先ほど言いましたように、デパートにも設けていますので、ぜひこうしたところを利用して投票していただきたいと思います。

【市長】 直接、はいできますというお答えができなくて申しわけないですけれど、現状はコストの面やセキュリティ面の課題があるということです。ぜひとも、皆さん選挙に行ってくださいね。誰に投票してくださいといった話ではなくて、選挙には行ってください。皆さん学生さんなのでよくわかりだとは思いますが、最初から選挙権が全員に認められていたわけではないんですよ。最初は一定の収入があるお金持ちの男性にだけ認められて、次に男性に認められて、男性も女性も選挙権が認められたのは戦後になってからです。みんなが獲得してきた選挙権という権利なんです。そういう歴史があるので、ぜひとも皆さんには権利を行使していただきたいと思います。誰に入れてくださいという話ではなく、自分で放棄することはないよう、投票はしていただきたいなと思います。選挙で意見を反映したほうが、自分たちの意見が通りやすくなりますからね。若い人がちゃんと選挙に行ってくれるようになったら、その人たちに向けた施策もきちんと打ってくれるような流れになってきますので、ぜひとも選挙には行っていただきたいと思います。

【学生】 松山東雲女子大学3年の学生です。私は子ども専攻で、将来は保育士になろうと思っています。最近話題の保育士の給料について、松山

市ではどのように考えているのか聞きたいです。以前のタウンミーティングでも同じような質問があつて、保育園で給料が決まっているからなかなか難しいということを押見させていただきました。そこで提案ですが、給料を上げるのが難しければ、福利厚生面で、例えば公共の乗り物や道後温泉の入館料などのクーポンを配布して、お金を渡すのが難しいのであれば、何かほかの松山の資源を活用していく方法はないのかなと思っています。

【保健福祉部副部長】 先ほど言われましたように、給料は、雇っているところと雇われている方のお互いの合意があつて初めて決まります。もちろん、最低賃金という法律を守った上での話になります。松山市が運営している保育園であれば、松山市のルールに従つて給料は決まっていますが、私立の保育園になると、園と雇われている保育士さんとの間の決めごとになりますので、なかなかそこに市が入っていくことはできないと思っています。また、クーポンのようなものについては、今、ここでこうしますというのはなかなか難しいかなと思います。

【地域経済課長】 福利厚生の話では、大きな企業というのは独自に共済制度を設けて、例えば結婚をしたらいくらとか、亡くなったらいくらとか、そういったことを設けています。でも、小さくて体力がない企業もあるので、松山市が勤労者福祉サービスセンターというのをつくっています。そこに、例えば小規模な事業者さんが毎月の掛金をいくらか払えば、この旅館だったら普通1万円なのが8千円で使えますよとか、そういったサービスがあります。そういった福利厚生ができていないところであれば、企業自体でなくても個人からでも加入することができます。

【学生】 保育士だけではないですが、例えば、給料が少なく離職率も高いとなつたときに、松山市が保育士のために何かできることはないのかということで、誰でも受けられる制度ではなく、何かほかにも制度をつくれないうのかなと思います。

【地域経済課長】 今、私が申し上げたのは、どちらかというところ産業全体の話で、保育士自体では今のところない状況です。

【保健福祉部副部長】 賃金アップですが、国でも保育士の賃金が低いので何とかしようということで、2%上げようとしています。2%というのが6千円ですけれども、月にそれぐらい上げることを国では考えているようです。そうなれば、6千円払ったけれども、直接働いている人に入つたかが重要になりますので、そのあたりを確認できるような方法を考えたいと思っています。

【市長】 せつかくの流れなので、国・県・市の話をさせていただきたいと思っています。いい意見だつたと思いますが、実は保育のことで困っている

のは松山市だけではなく、同規模の中核市でも保育士の確保のことは困っています。こういう全国共通の課題は、国としてしっかりしてもらわないといけないので、今、国で施設に支払われる補助金を見直すことを議論しています。国がすべきことと、基礎自治体の市民に近い市役所としてやるべきことがあると思います。例えば子ども医療費がそうです。今、松山市では中学3年生までの義務教育期間中は入院については無料ということになりました。入院と通院でいうと、本当は子どもの体調のことを考えると入院させたほうがいいんだけども、入院させてしまうと家計的にしんどいんだよねというご家庭も実際にあります。そういう家計の心配があるから入院させることができないというのはつらいですよ。ですから、そこは愛媛県にもお願いして、愛媛県からの補助金も増やしてもらって、中学3年生までは、松山市では入院については無料ということになりました。でも、ある市町さんでは、中学3年生までは入院と通院が無料だということもあります。各市町さんはうちの市に住んでくれたら何年生まで通院は無料よ、入院は無料よみたいなサービス合戦になっているんです。大きな話をすると、今、国自体が1千兆円の借金を抱えていると聞かれたことがあると思いますが、これは仕送りと似たところがあるんです。大もとがしんどくなったら、これから仕送りが増えるかといったらこれは厳しいですよ。国から地方へ送られてくる国庫補助金や地方交付税交付金が、これから増えるとはとても考えにくいです。少子高齢化が進み、働いてお金を納めてくれる人の数はこれから減っていきますが、そういう中で、サービス合戦をするのではなく、国としてやらないといけないことがあるんじゃないでしょうか。各地方都市でサービス合戦になっている現状はどうかということを、我々首長として言っているところです。これからも市として声を挙げ続けていきますけれども、やっぱりさつき選挙に行ってくださいと言ったように、意見をしないと届かないですから、こういう意見を大事にしていきたいと思います。

【学生】 こんにちは。松山東雲女子大学子ども専攻1年の学生です。公立の高校のヘルメット使用についてお聞きします。私は私立高校出身で公立のヘルメットについてあまりわからないので、公立高校を中心にヘルメット使用をしようと考えた経緯とその効果を教えてください。

【都市・交通計画課長】 これは愛媛県が主になりますが、愛媛県では自転車の利活用や安全面から条例をつくりました。その条例では、できるだけヘルメットをかぶりましょうとか、左側通行をしましょうという条例になっています。愛媛県で、まず県立高校と公立高校の高校生に無料でヘル

メットを配布し、今年度以降は私立高校にも無料のヘルメットを配布していく予定だと伺っています。背景としては、健康のためのスポーツバイクやしまなみなどを走るサイクリングがブームになっていることで、安全利用などのために条例ができ、それを契機にしたことが背景にあると思います。

【市長】 私も大学時代にオートバイに乗っていたことがあります、やはりヘルメットは大事です。先日も松山市の立花で高校生が事故に遭い、ヘルメットをかぶっていたので一命を取りとめたということがありました。ヘルメットをかぶらないで、むき出しで路面にたたきつけられたら恐ろしいですね。格好が悪いということがあるかもしれませんが、できるだけヘルメットをかぶっていただくことが大事だと思いますので、ご協力よろしくお願いします。

【学生】 松山東雲女子大学子ども専攻の学生です。先ほども待機児童のお話を聞かせていただきましたが、今は待機児童ゼロに向けて保育ができる場所の整備や、保育士の獲得をされていると思いますが、私が今一番怖いのは保育の質が落ちてしまうことです。私も保育士を目指しているので、保育の質は確保していきたいと思っていますが、松山市さんでは保育士の質や保育の質についてはどういったお考えがあるかお聞かせください。

【保健福祉部副部長】 言われるように待機児童をゼロにするだけが目標ではなく、当然のことですが質も重要だと思います。今、保育は国の基準に基づいて0歳児には何人に1人つきなさいなど、基準が決まっています。その基準を守った上で、子どもたちの様子を気にしながら、子どもたちにあったような保育をし、保育士さんの働く環境も非常に重要になっています。雑用に追われて本来すべきことがなかなかできないようなことも聞いていますので、そういったところを解消して、保育士さんの本来業務ができるように、松山市としてもサポートしていきたいと考えています。

【市長】 松山市で始めた事業があります。保育園では、園児さんの日誌を書かないといけないですが、結構時間を取られるんだそうです。それがシステム化されていて、そこで省略ができたなら保育士さんにちょっと時間ができますよね。そのシステムを導入することに、松山市が補助をするようにしました。このようにできるだけ保育士さんの労働条件、労働環境の改善をしていきたいと思っています。

【市長】 まとめのお話をさせていただきます。質問できなかった方もいらっしゃるかと思います、松山市では市長へのわがまちメールという、市

役所のホームページから市長への直接のメール制度があります。今日、本当は言いたかったけど言えなかったという方は、そのメール制度や封書やはがきを使っていただいて、遠慮なく言っていただけたらと思います。今日は松山東雲女子大学・松山東雲短期大学さんに来させていただいて本当にお行儀がよかったなと思っています。どうせ市役所に言っても変わらないではなく、声を寄せていただくことが大事になります。「こういうやり方はできないけど、こういうやり方だったらできるんですよ」というような情報提供をすることもできますし、道の話ですと「それは市ではなくて県なんですけど、県に言うておきます、皆さんからも言うてくださいね」ということもできます。市・県・国でいうと皆さんに一番近いのは市なので、どうぞ遠慮なくさまざまな声を寄せていただけたらと思います。「言ったんだけど態度が悪かった」ということがありましたら遠慮なく市長へのわがまちメールで言うていただけたら、私のほうから「職員さん、ちゃんとしてください」と言うこともできますので、遠慮なく言うていただけたらと思います。本当にいい時間でした。またこういう機会を重ねていきたいと思っています。夏休み期間中に集まっていたき、本当にありがとうございました。

— 了 —